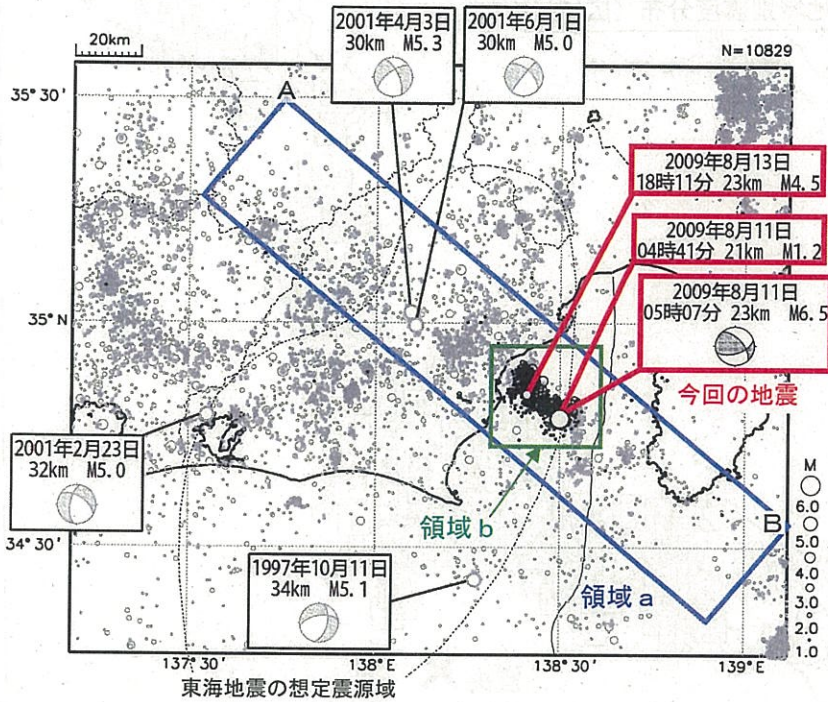


8月11日 駿河湾の地震 M6.5

フィリピン海プレート内部の地震、M6.5、最大震度6弱

震央分布図 (1997年10月1日～2009年8月18日、
深さ90km以浅、M≥1.0)

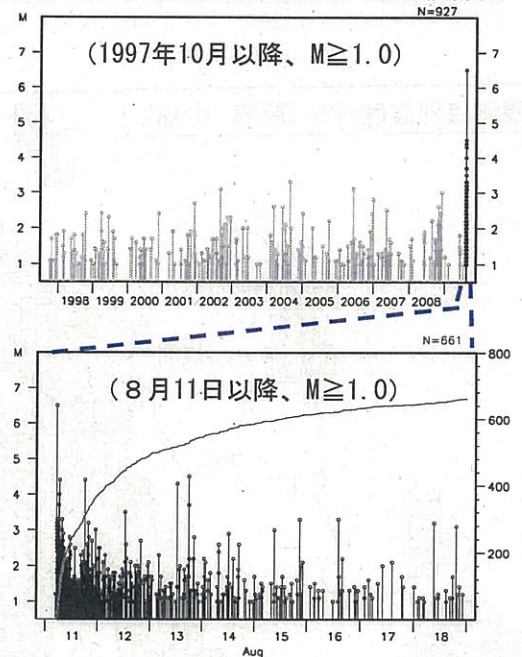
2009年8月11日以降の地震を濃く表示。



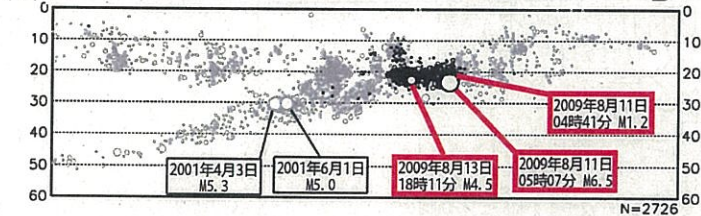
2009年8月11日05時07分に駿河湾の深さ23kmでM6.5の地震 (最大震度6弱) が発生した。この地震により死者1名、負傷者180名などの被害が生じている (18日16時現在、総務省消防庁による)。発震機構は北北東-南南西方向に圧力軸を持つ型である。余震活動は減衰しつつある (これまでの最大は13日18時11分のM4.5の地震 (最大震度3))。今回の地震は、震源の深さ、発震機構解及び余震分布からみて、沈み込むフィリピン海プレートの内部で発生した地震と考えられる。

1997年10月以降、今回の震源付近 (領域b) の地震活動は時々M2～3の地震が発生する程度で、周辺の地震活動に比べて比較的低調であった。

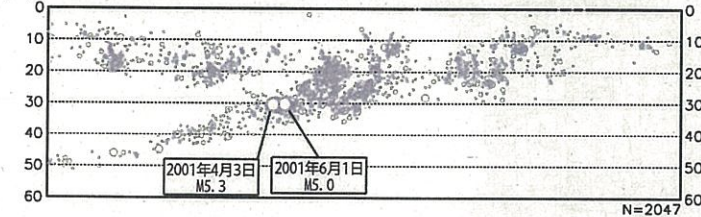
領域b内の地震活動経過図、回数積算図



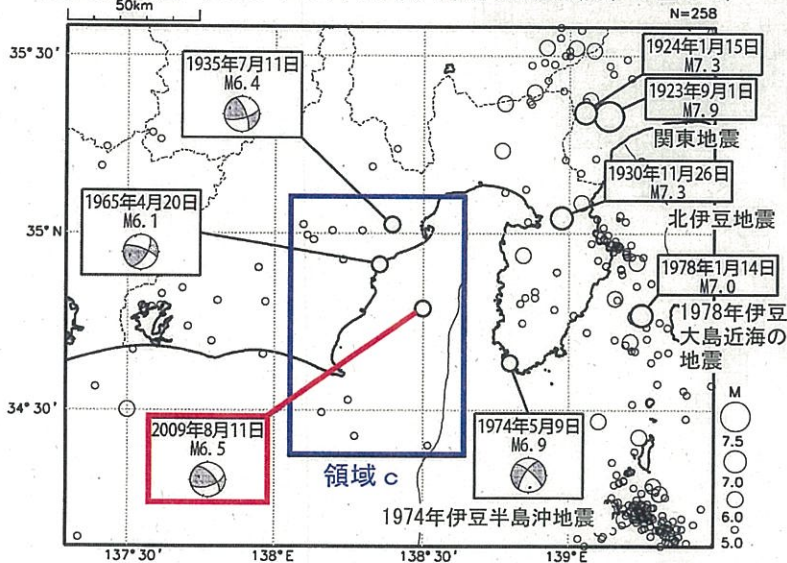
領域a内の断面図 (A-B方向)



地震発生前までの領域a内の断面図 (~2009年8月10日)



震央分布図 (1923年8月以降、深さ60km以浅、M≥5.0)



1923年8月以降、今回の震央周辺 (領域c) では、北西側の静岡県内陸部で、1935年と1965年に静岡地震が発生している。

領域c内の地震活動経過図

